

対象S/W		詳細	
FW	FUNC	ファームウェア	コマンド実行
	DEV		デバイス制御
TOOL1		コントロールプログラム	コマンド実行など
TOOL2		保守管理ツール	アップデート、ログ採取など
MANU		マニュアル他	

バージョン	リリース日	CD-ROM	対象S/W	内容
1.0.1	2019/3/27	1.0.0	FUNC	「TP1000PB取得」でガイダンス再生中にDTMFを入力しても、再生が終了するまでレスポンスを返信しない場合があります。
				再生テキストの間に空白があるとガイダンス再生中に"プツ"と雑音が挿入される場合があります。
				「TP1000PB取得」を複数回実行すると、前回実行時に入力したDTMFが有効となりDTMFを入力しなくてもコマンドを終了してレスポンスを返信する場合があります。
				[着信処理]='D'2に設定して1次リングと2次リングを検出した後に"N-[発信者番号]<CR><LF>M-H<CR><LF>H-<CR><LF>RING2"<CR><LF>を通知して、"RING1"<CR><LF>を通知していませんでした。
				「TP1000着信設定」で[着信拒否切断]='Y'、[着信拒否ガイダンス]='<CR><LF>のみの場合に"CMD ERROR"を返していました。
				「TP1000接続確認」を複数回実行した後に着信を検出すると"GOOD1"<CR><LF>"RING2"<CR><LF>を返信する場合があります。
				「TP1000PB取得」でタイムアウトが発生したときにタイムアウトまでに取得したDTMFを"TIMEOUT ERROR"の後に通知していませんでした。
1.0.2	2019/4/17		FUNC	電源投入後に「TP1000TEXT」を実行してもガイダンスが再生されずALM LEDが点灯する場合があります。
1.0.3	2019/5/27		FUNC	「TP1000TEXT」でガイダンス再生中に回線切断を誤認する場合があります。
				「TP1000TEXT」や「TP1000PB取得」のガイダンス再生中に音声再生が停止する場合があります。
				ガイダンス再生時の音声合成オプションのデフォルトを改善しました。
1.0.5	2019/8/1	1.0.1	FUNC	LAN通信がTLS(1.0~1.3)に対応しました。
				Syslogサーバーへのログ送信機能を追加しました。
				SNMP機能を追加しました。
1.0.6	2019/10/16	1.0.2	FUNC	着信時に"RING LOST"を通知しない場合があります。
				「TP1000着信設定」の[リング回数]で指定した回数よりも1回多いリング検出回数で自動応答していました。
				[着信処理]='N'設定状態で着信して「TP1000着信拒否」「TP1000着信許可」を実行すると"NO RING ERROR"を返しませんでした。
				[着信拒否切断]='N'に設定した着信時に「TP1000着信拒否」して「TP1000着信許可」または「TP1000着信拒否」を実行すると"NO RING ERROR"を返しませんでした。
				[着信処理]='N'、[リング回数]=1に設定すると最初のリングで相手局と接続していました。
				[発呼先番号]の先頭に"Q"(DP(10PPS)回線)を付加しても、DP(20PPS)回線としてダイヤルしていました。
				回線制御について以下の状態が発生する場合があります。
				・回線接続しても"CONNECT"を通知しない。
				・回線切断してもレスポンスを返さない。
				発着呼衝突が頻発すると以下の状態が発生する場合があります。
				・再生機能付きコマンドを発行すると前回の音声再生する。
				・電話ケーブル抜け/接続のSNMP TRAPを誤って送信する。
				再生機能付きコマンドで入力する再生テキストにより以下の状態が発生する場合があります。
				・長文の再生テキスト：再生が停止して、レスポンスを返さない。
				・CR+LFのみの再生テキスト："VOICE ERROR"を返して、それ以降のコマンドで再生が正しく行われぬ。
				・シフトJIS以外の再生テキスト：レスポンスを返さず、それ以降のコマンドを受付けぬ。
				「TP1000TEXT」の実行で以下の状態が発生する場合があります。
				・"VOICE ERROR"が発生するとレスポンスを返さない。
				・開始した後にリングを検出して「TP1000着信許可」「TP1000着信拒否」を実行すると"CMD BUSY"を返さない。
				・開始した後にリングを検出してリングが消失すると再生が途中で停止する。
				LAN接続時にコマンドが送信されない状態が続くと意図せず切断される場合があります。
				「TP1000バージョン」のバージョン情報をTP1000/IIの書式に合わせました。

バージョン	リリース日	CD-ROM	対象S/W	内容
1.0.7	2019/10/30	1.0.2	FUNC	「TP1000着信設定」で[着信拒否ガイダンス]行を省略すると"OK"を返さない。 テキストと音声変換制御コードが混在した場合に音声合成・再生がスキップされる場合があります。
			MANU	誤記を修正しました。 誤：4.1.41 TP 2 0 0 0 設定ダウンロード 正：4.1.41 TP 2 0 0 0 設定DOWN 誤：4.1.42 TP 2 0 0 0 設定アップロード 正：4.1.42 TP 2 0 0 0 設定UP
1.0.8	2019/12/6	1.0.4	FUNC	「TP1000PB出力」で'A'~'D'が送出されませんでした。 PB取得機能を改善しました。 再生テキストのレベル1制御コード初期化("[ID]")とレベル2制御コード初期化("[ID]")が実行できませんでした。 再生テキストにレベル2制御コードを楽音コード(音階出力："XC"~"XB")を最初に指定すると音が出ませんでした。 「TP1000着信設定」で[着信処理]='D'：発ID取得モード2を指定すると発信者番号非通知理由='M'、着番号='H'と表示していました。(正しくは発信者番号非通知理由='H'、着番号='M')
			FUNC	再生テキストで"{xxxx~}"を指定したときにTP1000/IIと同じように音が出ませんでした。 「TP1000PB制御」[処理コード]=4：バッファリング停止(逐次通知開始)を実行すると、それ以降のコマンドの応答で約2秒の遅延が発生していました。 「TP2000設定UP」でTP2000からガイダンスの設定情報として"[VoiceModel],x"<CR><LF>ではなく"[Guidance],x"<CR><LF>を通知していました。(x="2"~"5") 「TP1000出力制御」[出力先コード]=2(スピーカ：OFF)、 「TP1000設定書込」の順に実行して再起動するとスピーカ：OFF状態でスピーカから音声が出力されていました。
			TOOL1	メニューバー"データメンテ"に"設定データアップロード"と"設定データダウンロード"を追加しました。
			MANU	付録2. 6. に(1)設定データアップロードと(2)設定データダウンロードを追加しました。 付録2. 6. (1)、(2)の追加に伴い、設定データ書込み、設定データ読出し、設定初期化の説明を(3)設定データ書込み、(4)設定データ読出し、(5)設定初期化に変更しました。
1.0.10	2020/7/2	1.0.7	FUNC	「TP1000架電PW再生」でTP1000/IIと同様に [再生テキスト] の再生後に繰り返すか終了するか選択できるようになりました。 「TP1000PB制御」[処理コード]=4：バッファリング停止(逐次通知開始)で切替えたときに検出済みのDTMFをTP1000/IIと同様に通知しないようにしました。
			MANU	4.1.3 「TP1000架電PW再生」に [再生テキスト] の再生後に繰り返すか終了するか選択の説明を追加しました。
1.0.11	2020/11/12	1.0.8	FUNC	システム異常発生時に"CMD ERROR"を返すようにしました。
			MANU	「ご注意」のページに「この装置を廃棄する場合は、. . . 」を追加しました。 "CMD ERROR"の発生要因に"システム異常発生"を追加しました。 4.2 「コマンド制約条件」に"(4)句読点の挿入"を追加しました。
			FUNC	「TP1000架電PW再生」で[パスワード入力ガイダンス]再生中の相手局回線断での終了("ERROR1")が複数回発生すると、コマンドを受けなくなる("CMD ERROR")場合があります。
1.0.13	2021/4/7		FUNC	「TP1000架電PW再生」パスワード入力で入力ミス(桁数不足でタイムアウト)でリトライせずに"CMD ERROR"が発生していました。
1.0.14	2021/4/16		FUNC	「TP1000架電PW再生」で特定の[再生テキスト]再生中に回線切断されると、次のテキスト再生時に前回の続きが再生される場合があります。 ※特定の[再生テキスト]：レベル1またはレベル2制御コードを複数含むテキスト
1.0.15	2021/9/13	1.0.10	TOOL1	仮想PCなどCOMポートが存在しない環境で「装置接続設定」を実行すると、例外発生が表示されて動作が継続されていました。
			FUNC	コマンドログファイルにコマンド・レスポンス等を記録するタイミングを変更しました。(10回に1回→毎回)
			MANU	保守管理ツールでのファーム更新時の画面を修正しました。
			FUNC	「TP1000HOST取得」を実行しても[通報メッセージ]が返されませんでした。
		1.0.11	TOOL1	全項目設定画面を追加しました。
			TOOL2	画面左端の赤ランプ表示が本体IPアドレス設定後に緑ランプに変わるように変更しました。
MANU	付録2. 「コントロールプログラム」に7. 「全項目設定」を追加しました。 付録3. 「保守管理ツール」の6. 「ネットワーク設定変更」画面左端のランプ表示について記述を追加しました。			
1.0.17	2023/3/8	1.0.12	FUNC	リングパケットを検出する周波数範囲をTP1000/IIに合わせてました。 送信元の電話機に依存してDTMF検出に失敗する場合があります。
1.0.18	2024/3/19	1.0.13	FUNC	「TP1000架電再生」「TP1000架電PW再生」「TP1000発信接続」「TP1000HOST設定」で発呼先番号なしでコマンドを実行したときのエラーレスポンスをTP1000/IIと同じ"CMD ERROR"にしました。 [DT検出]=0(検出しない)の場合にオフフックからダイヤル開始までの時間を修正しました。(2秒→3秒)
			FUNC	音声合成異常TRAPが誤って送信されることがありました。 [発呼先番号]に回線種別P、Qと区切りコードSを指定した場合にERROR2を返すことがありました。
1.0.19	2024/7/10	1.0.14	FUNC	「TP1000バージョン」で取得するバージョン情報を保守管理ツールで取得できる"Version"に統一しました。 「TP1000リセット」後にLAN接続できないことがありました。
1.0.20	2024/11/19	1.0.15	MANU	お問い合わせ先の住所を変更しました。
			TOOL2	ゲートウェイ環境でのファームウェア更新、ログの取得に対応しました。